

解 答 速 報



兵庫医科大学 一般選抜



〔問 1〕

(1)	A. ア ⑤ / イ ① : end up crying at some (③-⑤-②-①-④)
	B. ウ ④ / エ ① : why people don't ask each (⑤-④-②-①-③)
	C. オ ⑤ / カ ④ : is the number one source of (①-⑤-③-④-②)
	D. キ ③ / ク ② : to talk with other commuters (④-⑤-③-②-①)
	E. ケ ③ / コ ① : was much more fun than (⑤-③-②-①-④)
	F. サ ④ / シ ① : came up with an answer to (②-④-⑤-①-③)
(2)	少し促すだけで [少し背中を押すだけで], 人は自分の人生の物語を熱意をもって話してくれるだろう。

〔問 2〕

(1)	何らかのかたちの天気の変化。				
(2)	ひどい片頭痛が起きると、仕事の計画、勉強、そして社会活動の計画 [人と会う約束, 人付き合いの予定] が壊れ、やるせない気持ちを生じることがある。				
(3)	ア ⑤	イ ③	ウ ②	エ ①	オ ④
	カ ⑦	キ ⑨	ク ⑧	ケ ⑥	コ ⑩

〔問 3〕

(1)	③
(2)	③
(3)	母の活動領域はどんどん狭くなっていき、家を離れてそんなに遠くまで外出することができなくなったのですが、母は全てのものの中に美を見出し続けていたのです。私は母のそのような姿に本当に感激しました。
(4)	④
(5)	①
(6)	迫りくる死をただ待つだけの意味しかない場所 (であるホスピス)

〔問 4〕

(1)	If you go to a place, the place has its own atmosphere, to which its language is best fitted. So you should respect [you have no choice but to respect] the atmosphere. [別解] Different places have different types [kinds] of atmospheres, and they have their own language. We can hardly resist the force of the atmosphere upon our language acquisition.
(2)	The atmosphere first influences the accent, (and) then the vocabularies. If you reverse the order in learning, you will have difficulty (in) getting to the mastery. [別解] As we get accustomed to a place, our accent changes first, and so does the vocabulary afterward. If this order should be reversed, it is difficult for us to master the language.

【講評】

〔問1〕：「自己の物語を語ることの影響」についての英文。6カ所の整序問題（25年度が5問→206年度が6問に微増）、和訳問題が出題された。(2)の和訳問題は、nudgeの意味を文脈から考えて、自然な日本語にする力が必要だった。

〔問2〕：「片頭痛の原因についての考察と取りうる対策」についての英文。例年通りの出題である10カ所の穴埋め問題に加え、指示内容説明問題、指示内容説明付きの和訳問題という構成であった。10カ所の穴埋めは自信がある箇所から埋めて、③dilateのような難解な語の補充を後回しにすれば、消去法的に正答率を高めることができたはずである。その他は、文脈を追えていればそれほど難解な箇所はなかったので、しっかりと得点したい大問であった。

〔問3〕：「詩人 Helen Dunmore とのホスピスでの経験から見出した生と死についての考え」に関して述べた英文。文中には難解な語句があったとはいえ、設問の処理に影響はなかった。空所補充問題、語句の意味選択の問題は、文脈からアプローチすれば容易に答えに辿り着けたであろう。(3)の和訳問題は、her world, inspiringの意味を文脈から考察せねばならず、的確な訳語選定を日頃から練習していなければ苦勞してしまう問題と言える。(6)の a place synonymous with dying の指す内容説明は、hospice の言い換えであることを念頭に、synonymous with ～「～と同義の；～と密接に関わる」の意味を使いながら答える必要のある問題だった。

〔問4〕：和文英訳問題。昨年3文の出題から2文の英作文に減った形となったが、和文が表している内容をかみ砕いて適切な意味を表す英文にする力が求められた。この形式は、「あなたの解釈が分かるように英訳せよ」という指示の滋賀医科大学の英作文の出題を思わせるものだった。

大問構成・出題傾向の大きな変化はなかった。昨年度より語数・解答の記述量がともに減った。設問自体の難易度は昨年度並みであったが、分量減による時間の余裕が生まれ、受験生にとってやや取り組みやすくなったように感じられる。合格には70%が目標。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F
個別専門館 麹町FC校 TEL：03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20	提携校 医学部特訓塾 TEL：03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F	